

平成 29(2017)年 11 月 8 日

保護者のみなさまへ

豊能町立東能勢小学校
校長 新倉 英俊

平成 29 (2017) 年度全国学力学習状況調査の結果について

深秋の候、保護者のみなさまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本校の教育活動推進にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、4 月 18 日に行われました平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果が 9 月に文部科学省より公表されました。該当学年の 6 年生児童には個人結果を返却しましたが、本校全体の結果につきまして概況を報告させていただきます。

調査内容は、国語 A・算数 A (主に知識)、国語 B・算数 B (主に活用)、児童質問紙 (生活習慣や学習に対する意識等の調査) です。

なお、今回の調査の問題や質問紙の内容は、国立教育政策研究所のホームページで公表されています。また、豊能町の結果概要と分析、今後の取り組み等は、町ホームページに公開されていますのでご覧ください。

I. 国語の結果から

国語 A (主に知識)

- 「読む」については全国を若干上回る結果になっている。
 - ・設問 2、3、4-①など文章から必要な情報を読みとり、選択式で解答するものについては全国よりも 5%近く上回っていた。
- 「言語についての知識・理解・技能」について、漢字の書きとりを除けば、全国を上回る。
 - 漢字の書きとりが全国を 10%以上、下回っているものがある。
 - ・設問 7-①の正答「対象」について、「対」は書けるが、「しょう」を「象」「照 (これは誤答)」など解答できない児童が 29.7%。
 - ・設問 7-⑤の正答「置いて」について、無回答 18.9%、書いてはいるが正答できない児童 21.6%。

国語 B (主に活用)

- 「話す・きく」に関する設問の正答率が、全国を若干上回っている。
 - ・設問 1-②の短答式の解答において、正答の条件 (文章の言葉を使うことと文字数) をしっかりと意識した解答ができたものと考えられる。
 - 問題の形式が記述式のものに対する正答率が、他のものに比べて低い。

- ・設問 1-③で、内容的に 2 つ以上の事柄を盛り込む必要がある時、一つについてしか書けていない児童が 38.8%。
- ・設問 3-③では、無回答率が 21.6%、解答をしていてもたくさんある条件を満たさきれていないものが 18.9%など、いずれも全国を上回っている。最後の問題ゆえ、集中力持続の方が課題となるのかもしれない。

II. 算数の結果から

算数 A (主に知識)

- を使った式、2次元表の技能面が高かった。(8、9) (1) (2))
- 3けた×2けたのかけ算の正答率が高かった。(2) (1))
- 無解答率が低かった。
 - 問題により正答率のばらつきが大きい。全国平均より 11↑~16.6↓)
 - 小数の概念に課題が見られる。(1) (3)、2) (2) (3))
 - 量と測定領域の問題の正答率が低い。(4、5)
 - 同じ考えを答える問題に課題が見られた。(4)

算数 B (主に活用)

- 飛び離れた数値をのぞいて平均を出す問題の正答率が高かった。(3) (1))
- 選択式の問題は、府や全国と比べ、正答率が高い傾向がある。(3) (1)、5) (1))
- 記述式の問題は、府や全国と比べ、正答率、無解答率が高い。
(1) (3)、2) (1)、3) (2))

【課題】

国語・算数の結果より、課題のポイントを次の 2 点としました。

- ◎求め方を知るだけでなく、求め方の意味を理解すること。
- ◎場面の意図を把握し、場面に応じた聞き方・話し方・書き方の力をつけること。

【今後の取り組み】

- ①今までどおり基礎・基本を大切にしつつ、式・数・言葉を結びつけ、豊かに表現していく学習を創っていく。
- ②グループ討論など話し合う機会を多く設定し、主体的な聞き方や状況に応じた伝え方を身につけられるようにする。
- ③体験や操作活動等の実体験と結びつけ、「何のために」や「なぜそうなるのか」を意識した授業を創造していく。

※ 特に本校の課題と考えられる問題を別紙にまとめましたのでご覧ください。

IV. 児童質問紙について

子どもたちの生活や家庭学習の様子、授業に対する意識を調査したもので、次のような結果と特徴が見られました。

①生活の様子について ※数字は、肯定的な解答の割合です。

- 毎日朝食を食べる (本校 97.3 府 93.9 国 95.4)
- 毎日同じくらいの時刻に寝る (本校 86.4 府 76.7 国 79.8)
- 毎日同じくらいの時刻に起きる (本校 94.6 府 89.6 国 91.2)
- 平日のテレビゲーム、携帯電話ゲームをする時間
(2時間以上:本校 21.6 府 14.4 国 13.5) (1時間未満:本校 40.5 府 28.3 国 30.4)
- 携帯電話・スマートフォンを持っていない (本校 43.2 府 29.1 国 36.7)
携帯電話・スマートフォンの使用時間 (4時間以上:本校 0.0 府 5.3 国 3.8)
- 平日の読書
(4時間以上:本校 10.8 府 6.2 国 6.9)
- 休みの日に学校図書館・地域図書館に行く回数
(週4日以上:本校 5.4 府 1.4 国 3.0)
- 土曜日午前中の過ごし方
(学校で授業を受けている:本校 8.1 府 3.8 国 5.0)
(家で勉強や読書:本校 51.4 府 41.1 国 51.2)
(学校以外の場所で勉強:本校 2.7 府 7.4 国 6.8)
- 授業参観、運動会など行事への保護者の来校 (本校 100 府 95.7 国 96.1)
- 今住んでいる地域の行事に参加している (本校 67.5 府 50.8 国 62.6)
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだ
(本校 97.3 府 95.5 国 96.1) ※府や国よりも肯定意見が多くなった。
- 学校に行くのが楽しい (本校 67.5 府 85.2 国 86.3)
- 学校で友達に会うのは楽しい (本校 83.8 府 96 国 96.4)
どちらかといえばそう思わない (本校 10.8 府 2.7 国 2.6)
- 将来の夢や目標を持っている (本校 78.3 府 83.7 国 85.9)
- 将来について家族と話す (本校 37.8 府 49.0 国 50.4)
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある (本校 89.2 府 94.3 国 94.8)
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
(本校 70.2 府 85.4 国 87.8) ※年々肯定的回答が増えていたが、今年度は減少。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している (本校 59.4 府 75.8 国 77.4)
- 自分には、よいところがある (本校 45.9 府 74.9 国 77.9)
※年々肯定的回答が増えていたが、今年度は減少。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある
(本校 35.1 府 37.2 国 42.3)
- 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたい (本校 29.7 府 34 国 33.6)

●人の役に立つ人間になりたい

(本校 81 府 91.9 国 92.5) ※肯定的回答が増加していたが、今年度は減少。

●学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている (本校 54 府 64.1 国 68.2)

●今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題をどのように解答したか

(全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した:本校 70.3 府 74.5 国 77.2)

●今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答したか

(書く問題は全く解答しなかった:本校 5.4 府 2.7 国 2.1)

●調査問題の解答時間は十分でしたか (国語A)

(全く足りなかった:本校 8.1 府 3.3 国 2.2)

●調査問題の解答時間は十分でしたか (国語B)

(全く足りなかった:本校 10.8 府 8.1 国 6.1)

●調査問題の解答時間は十分でしたか (算数A)

(全く足りなかった:本校 5.4 府 3.5 国 2.6)

●調査問題の解答時間は十分でしたか (算数B)

(全く足りなかった:本校 16.2 府 15.0 国 14.0)

②学習の様子について

○平日の学習時間 (授業以外)

(3時間以上:本校 16.2 府 12.6 国 11.9) (全くしない:本校 2.7 府 6.2 国 2.9)

○休みの日の学習時間

(4時間以上:本校 10.8 府 7.5 国 7.1) (全くしない:本校 10.8 府 19.1 国 9.7)

△「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

(本校 67.5 府 57.7 国 69.8) 《H26 44.7 H27 53.8 H28 60.5》

※年々肯定的回答が増えている。

△5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う (本校 75.6 府 72.4 国 78.5)

○400字詰め原稿用紙2～3枚に感想文や説明文に書くことは難しい

(本校 51.3 府 62.8 国 59.5)

○算数の勉強は好き (本校 78.3 府 65.2 国 65.9)

○算数の勉強は大切 (本校 94.6 府 90.7 国 92)

△算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える

(本校 70.2 府 65.3 国 69.1)

●家で自分で計画を立てて勉強をしている (本校 56.7 府 55.5 国 64.5)

●家で宿題 (全くしていない:本校 2.7 府 0.8 国 0.8)

●家で予習 (全くしていない:本校 35.1 府 28.5 国 21.6)

●家で復習 (全くしていない:本校 40.5 府 24.8 国 16.3)

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている（本校 72.9 府 84.9 国 86）
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる（本校 75.6 府 83.7 国 85.1）
- 5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた（本校 70.3 府 73.1 国 77.9）《H25 61.3 H26 74.5 H27 84.6 H28 89.5》
※肯定的回答が増加していたが、本年度は減少。
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の意見がうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた（本校 56.7 府 60.3 国 64.9）
- 5年生までに受けた授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていた（本校 81 府 87.9 国 88.2）
- 5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていた（本校 64.8 府 75.9 国 76.2）
- 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた（本校 83.7 府 89.6 国 88.7）
※当てはまるの数値が低い（本校 40.5 府 70.5 国 68.9）
- 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい（本校 54 府 56.3 国 53.7）
- 国語の勉強は好き（本校 56.7 府 57.9 国 60.5）
- 国語の授業内容はよく分かる（本校 83.7 府 81.5 国 82.2）
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している（本校 51.3 府 59.1 国 63.4）
- 算数の授業の内容はよく分かる（本校 72.9 府 81.1 国 80.6）
- 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える（本校 72.9 府 79.4 国 81.1）
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える（本校 72.9 府 79.8 国 81.4）
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている（本校 72.9 府 83.2 国 86）

【課題】

児童質問紙の結果より、課題のポイントを次の3点としました。

- ◎自主学習（予習復習等）の習慣化
- ◎根気・やる気・達成感の充実
- ◎考えを深め広げ、自己を見つめる力の養い

【今後の取組み】

- ①家庭学習において、宿題以外の学習方法を習得できるような課題の出し方を探る。
（全校学力・学習調査の「B問題」のように、自分でしっかり考えて取り組む習慣）
- ②自ら計画し実施していく「課題」の設定を行い、能動的活動の機会を増やす。また、自己肯定感を高めるような取組を考えていく。
（学級活動・つながりタイム・縦割り活動、キャリア教育・道徳教育等）
- ③地域の方と交流したり、外部に出かけたりする機会を多く持ち、社会性を高める。
- ④普段の授業で、考えを持つこと・考えを伝えること・人の考えを聴くことを意識して取り組む。

V. おわりに

以上のように、全国や府と比較したうえで特徴的な項目について報告をさせていただきました。本校区の子どもたちは、ご家庭でしっかりと見ていただいておりますが、この機会に子どもたちの生活と学習について、振り返っていただければと思います。

学校では、今年度も引き続き、すべての児童が分かりやすい授業づくりをめざして道徳を中心に「考えが生まれ考えが生きる授業づくり」の研究に取り組んでいます。

さらに、子どもたちが安心して元気に学習や活動ができるよう、しっかり一人ひとりを見つめて、学校全体で課題に臨んでいける体制を意識しながら、日々子どもたちの支援を行ってまいります。

今後とも、ご家庭・地域のみなさんと連携し教育を進めていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。